

地元産業界等との地域の課題解決に向けた連携事業の実施、公表 地元産業界等と地域の課題を認識し、目標設定、成果の地域へのフィードバック、地域連携の評価 等のサイクルを構造化し、その課題解決に向けた 事業を実施し、公表している。

地元産業界等と連携した実践的 PBLを含む授業科目等の開講 の実施、公表 地元産業界等と連携し、地域における課題設定・カリキュラムの検討・実地研修などの実践的な PBLを含む授業科目等の開講を実施し、公表して いる。

【短期大学部保育科での取り組み】

◆地元産業界等との課題

北九州市の若者流出口増加をくい止め、地元就職者を増やすための課題に取り組んでいる。学内のみならず、北九州市内幼稚園教諭・保育士養成校と協働して「保育人財 PROJECT」に基づき、連携事業を通して地元就職者、地元幼稚園・保育園を学生や高校生に知ってもらう活動を行っている。

この活動実施にあたって「北九州市私立幼稚園連盟」「北九州市私立保育園連盟」「北九州市保育所連盟」「北九州市保育士会」と連携している。

◆具体的な活動内容

短期大学部保育科の学生を対象に幼稚園・幼稚園教諭を知る活動「教育懇談会」

保育園・保育士を知る活動「園長先生とのサークルトーク」を開催。

現場で働く幼稚園教諭を 15 名、連盟役員園長等を 10 名程度学内にお招きし、教諭から直接話を聞くことに始まり、学生からの質問に応じていただく。実習とは違った切り口で幼稚園教諭と直接対話することで、より身近に園や先生を知ることができる。

この活動から長期休みに自主実習に臨むことも多く、北九州市内の幼稚園への就職者を増やすことにつながっている。

保育園を知る活動としては「北九州市保育士会」「北九州市私立保育園連盟」から園長を中心に学内にお越しいただき、学生を少人数のグループ分けした上で、保育園・保育士について園長から触接話を聞く機会を設けている。

園長ならではの、保育士の待遇面などにも言及できるため、学生は保育園をマネジメントする立場を知ることができる。

学生は園長と直接対話することで、園の特徴や方針を知り、自主実習する保育園候補として考える保育園を増やすきっかけになっている。

北九州市内の幼稚園教諭・保育士養成校と協働し、合同就職説明会に養成校ブースを出し、養成校で学んでいる学生、幼稚園教諭や保育士に興味をもっている高校生に北九州市内幼稚園、保育園を広く知ってもらう活動に取り組んでいる。

合説で幅広く幼稚園・保育園の教育方針、保育の特徴などを知り、新たな出会いの場を提供することにつながっている。

■西南女学院大学短期大学部

◆学内でのサークルトーク

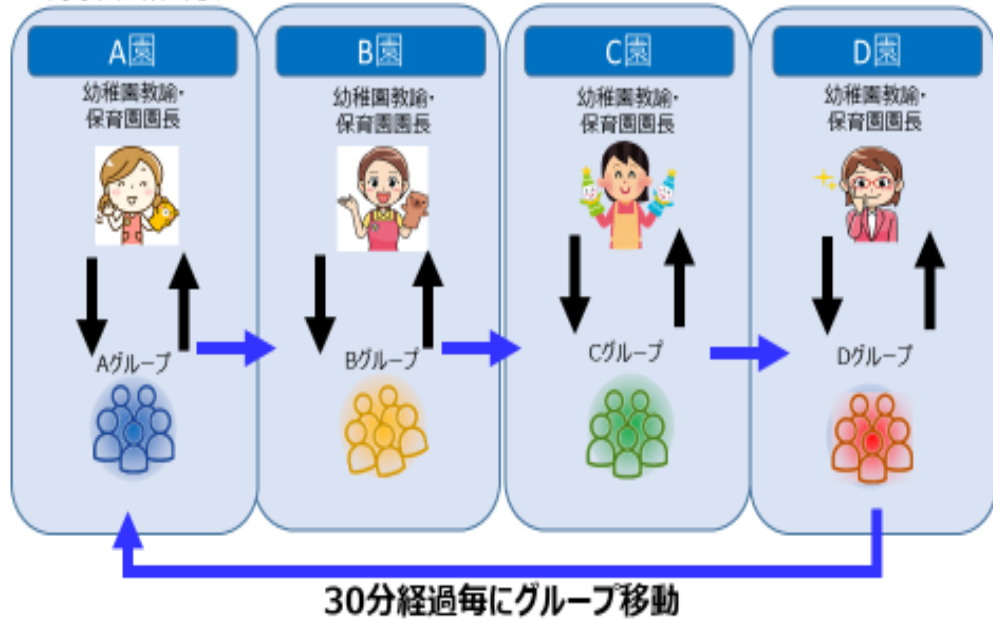
幼稚園・保育園各年1回

時間数：100分(1コマ)

学生数：約70名

参加園：幼稚園6園(教諭12名) 保育園15園(園長15名)

■グループごとに対象園の話聞く



- ・幼稚園教諭、保育園園長などからリアルな保育現場の話聞く⇒学生からの疑問にその場で答える。
- ・北九州市内の幼稚園、保育園がより身近な存在となる
- ・自主実習園の候補、就職希望先園の候補となる